

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	新潟県立看護大学
設置者名	公立大学法人 新潟県立看護大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
看護学部	看護学科	夜・通信			114	114	13	
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/syllabus/files/R5jitumukyoin.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟県立看護大学
設置者名	公立大学法人 新潟県立看護大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページに掲載
<https://www.niigata-cn.ac.jp/hoteikokai/yakuin.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前公立大学法人役員	2023.4.1～ 2025.3.31	教育・研究
非常勤	株式会社役員	2023.4.1～ 2025.3.31	地域貢献・国際交流
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟県立看護大学
設置者名	公立大学法人 新潟県立看護大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>10月 授業計画書(シラバス)作成に向けた検討開始 10月下旬 授業担当教員へ授業計画書(シラバス)原稿作成と学務システムへの入力を依頼 12月下旬 各科目の授業計画書(シラバス)原稿の入力完了 1月下旬 提出された授業計画書(シラバス)原稿の内容確認 3月中旬 授業計画書(シラバス)を学務システム上にて公開 4月初旬 大学ホームページへ掲載</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>学務システム上にて、全学年の学生へシラバスを公開 大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/syllabus/index.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生便覧に、ディプロマ・ポリシーの学年別到達目標を掲げ、目指すべき指標を明示している。 ・ 同じく学生便覧に、履修の手続き、単位の認定、成績評価、卒業要件等について周知している。 ・ また、授業計画書(シラバス)に、科目毎の評価方法・評価基準を明記している。 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

○学生便覧に、GPAにおける成績評価方法について記載している。

具体的な記載は下記のとおり

学習成果をみるためのGPAによる成績評価

本学では一定期間の学習成果をみる指標として、GPA (Grade Point Average) 制度を導入しています。

授業科目の成績は得点に応じた5段階評定(A～F)とし、Fは不合格とします。表のように、科目ごとの成績評価に応じたポイントを与え(GP: Grade Point)、その科目の単位数を以下の計算式にあてはめて算出します。GPA2.0未満の学生は指導の対象となります。その他、必要に応じて指導することがあります。

$$GPA = \frac{[(\text{その科目のGP}) \times (\text{その科目の単位数})] \text{の総和}}{(\text{履修科目の単位数}) \text{の総和}}$$

(小数点第3位以下四捨五入)

【表】

成績評価	A	B	C	D	F
GP (grade point)	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

・なお、学生各個人に学期末毎に成績表を配付し、学年末には保護者にも配付している。

・希望者には、総通算GPAを基準とした学年順位を開示しており、各人が自ら、学年内における成績を把握することができる。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学生便覧(毎年度学生全員へ配付)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

○学位授与方針(ディプロマポリシー)は、大学ホームページで公表している。

また、学則で定める在学年数及び卒業所要単位数等は、学生便覧に詳細な卒業要件(選択課程毎に必要な単位数や選択科目における要件)として記載し、周知している。

なお、具体的な卒業判定の手順は、次のとおり

2月初旬 教務委員会で審議

2月中旬 教授会で審議

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学生便覧(毎年度学生全員へ配付)

学位授与の方針

大学ホームページに掲載

[https://www.niigata-](https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/2015-0610-1434-15.html)

[cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/2015-0610-1434-15.html](https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/2015-0610-1434-15.html)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	新潟県立看護大学
設置者名	公立大学法人 新潟県立看護大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/R3zaimusyohyou.pdf
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/R3zaimusyohyou.pdf
財産目録	—————
事業報告書	大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/R3gyoumujisseki.pdf
監事による監査報告(書)	大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/R4kansahoukoku.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和5年度年度計画 対象年度:2023年度)
公表方法:大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/R5nenndpokeikaku.pdf
中長期計画(名称:第2期中期計画 対象年度:2019年度~2024年度)
公表方法:大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/dai2kityukikeikaku.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:大学ホームページに掲載 https://niconurs.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=125&pn=1&count=20&order=18&lang=japanese&page_id=13&block_id=21

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/files/daigakuhyouka.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 新潟県立看護大学看護学部
教育研究上の目的 (公表方法: 大学ホームページに掲載) https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/shishin.html
(概要) 【看護大学がめざすこと】 いのちの大切さ、ひとの喜びや悲しみを理解できる豊かな人間性。 看護にとって何よりも大切なこと、それは「こころ」です。新潟県立看護大学では、人の喜びや悲しみをわかちあえる豊かなこころを育てます。 あらゆる生活場面に対応できる技術と知識、そして科学的判断力を養います。 深い洞察力をもって自己成長への志向を育むとともに、基礎的・先進的知識と技術を学ぶことにより、多様に変化する人々の健康と時代のニーズに柔軟に対応できる人材を養成します。 看護を保健・医療・福祉の総合的な角度から見つめ、コーディネートできる能力を身につけます。 保健・医療・福祉の総合的な視野を持ち、関連分野の人々と連携・協力して行われる実践を通して、全体を調整・管理できる能力を身につけます。 コミュニケーション能力を養い、社会の変化を察知する。 多様化する情報を的確に捉え、自らも学習を積み重ねながら正しく発信する能力を身につけます。 グローバルな視野で物事を考えることのできる、国際派の人間に。 地域や国を越え、看護の活躍の場がますます広がる中、語学力とともにこれからの国際社会で活躍できる人材を育てます。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学ホームページに掲載) https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/2015-0610-1434-15.html
(概要) 【ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)】 看護専門職者として人々の健康を支援するために、次の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学士 (看護学) の学位を授与する。 (1) 専門職として生命の尊厳を感受し、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。 (2) 人々の健康と生活を総合的にとらえ、生活の質の向上にむけた専門的知識と技術を身につけている。 (3) 地域の人々に寄り添い、地域の人々と共に健康で、穏やかに暮らし続けることを目指し、地域に貢献する能力を身につけている。 (4) 生涯にわたって看護の発展と看護専門職としてのキャリア開発のために、主体的に学修する能力を身につけている。 (5) 看護の専門的立場から、多職種と連携・協働する能力を身につけている。 (6) 看護職として国際的な視野を持ち、国内外の看護の課題に取り組む態度を身につけている。 (7) 看護学研究の体験を通して、研究的態度を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページに掲載）
https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/2015-0610-1403-15.html

（概要）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

本学の教育課程は、「地域の人々の健康な暮らしを支える看護職の育成」を目指すために、豊かな人間性と教養を育む「教養科目」、看護学を学ぶ基礎となる保健・医療・福祉に関する幅広い知識を得る「専門基礎科目」、多様な対象の看護ニーズに応えうる知識・技術・態度の育成とともに看護専門職者としての資質を高める「専門科目」の3つの科目群で編成している。

（1）生命の尊厳と人々の権利を擁護できる高い倫理観と、幅広い教養に支えられた豊かな人間性を育むための科目を全学年に配置している。

（2）生活者としての人間理解に必要な科目や看護に必要な人体の構造や機能、人々の心の働き、疾病や障害が生じるメカニズムと回復過程を理解するための科目を体系的・系統的に配置している。

看護学の基本的概念や看護実践の基本となる専門知識を学ぶ科目を1年次から配置する。また、多様な場・対象への看護実践に必要な知識・技術（アセスメントを含む）・態度を修得するための科目を体系的に配置している。

（3）地域の人々の暮らしと文化に関心を向け、地域の人々の健康づくりに貢献できる能力を培うための科目（地域志向科目）を系統的に配置している。

国内外との比較を通して新潟県と上越地域の生活文化を理解するための科目を1年次から配置し、地域の人々とともに地域づくりを推進するために必要な基本的知識と技術を修得するための科目を体系的に配置している。

注）地域志向科目とは、本学の教育理念・目標に掲げられた「自己及び他者への深い洞察力をもって自己成長への志向を育み、地域に貢献できる人材」を目指すための科目である。新潟県・上越地域というフィールドにおいて“地域活動に参加する”“人々と交流する”“他者と学ぶ、他者から学ぶ”などの体験を通して、地域における課題を解決する能力を培い、さらに看護学の深い学びへとつなげる。

（4）生涯学習の視点から、看護職として自ら発展していくことのできるキャリア教育を行う。

社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応していくために、それぞれの科目で多様な学修形態をもちいて、アクティブラーニングを促進する。

（5）保健・医療・福祉のチームの一員として、看護の専門的立場から、多職種と連携・協働する力を培うために必要な科目を体系的に配置している。

（6）国内外で看護実践ができる国際的な視野を持ち、対象地域の健康課題に柔軟に対応する知識・技術・態度を修得するために必要な科目を体系的に配置している。

（7）看護の専門性を探求し、看護学を発展させる基盤となる研究的態度を培うための科目を段階的に配置している。

1年次から知的探求技術（アカデミックスキル）を学ぶ科目を配置している。研究遂行能力の基本を修得するため4年次には看護研究を行う。

また、教育課程は、看護師課程と看護師・保健師課程（選抜制）の2つを置き、看護師課程は、地域志向の看護を実践できる専門的知識技術を修得するための科目を配置している。さらに、多様な場での看護の専門性を高めていくために、各自の興味関心に応じた看護専門分野の学修を深める選択科目を配置している。看護師・保健師課程では、社会の多様な健康課題に対応できるように、地域で生活する個人・家族・集団・組織の健康増進や疾病予防とQOL向上の知識・技術を修得するための科目を配置している。また、健康な地域づくりができる能力を身につけるための科目を配置している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページに掲載）
https://www.niigata-cn.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/admission.html

（概要）

【アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）】

新潟県立看護大学看護学部では、次のような学生を求める。

- （１）看護をはじめとする保健・医療・福祉の分野に興味関心をもち、社会に貢献したいという志がある人
- （２）人間を尊重し、共感的態度で人とかかわることができる人
- （３）協調性を持ちながら自分の意思を表現できるコミュニケーション力を身につけている人
- （４）高い基礎学力を有し、向上心や探究心をもって主体的に学習や行動ができる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページに掲載
<https://www.niigata-cn.ac.jp/guide/outline/soshiki.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
看護学部	—	11人	10人	8人	18人	5人	52人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		53人					53人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cu.ac.jp/gakubu_in/undergraduate/teacher/index.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部	95人	93人	97.9%	380人	380人	100.0%	0人	0人
合計	95人	93人	97.9%	380人	380人	100.0%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	97人 (100%)	5人 (5.2%)	91人 (93.8%)	1人 (1.0%)
合計	97人 (100%)	5人 (5.2%)	91人 (93.8%)	1人 (1.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 進学先：新潟大学養護教諭特別別科、金沢大学養護教諭特別別科等 就職先：新潟大学医歯学総合病院、新潟県立病院、新潟県厚生農業協同組合連合会、新潟市民病院、済生会新潟病院、長岡赤十字病院、国立病院機構さいがた医療センター、魚沼基幹病院、虎ノ門病院、金沢大学附属病院、東京医科歯科大学附属病院、日本医科大学病院、新潟県、新潟市、上越市、燕市、十日町市、湯沢町、埼玉県、山形県、秋田県庁等				
(備考)				

<p>・なお、学生各個人に学期末毎に成績表を配付し、学年末には保護者にも配付している。</p> <p>・学務システム上で総通算GPAを基準とした学年順位を公開しており、各人が自ら、学年内における成績を把握することができる</p> <p>○学位授与方針（ディプロマポリシー）は、大学ホームページで公表している。</p> <p>また、学則で定める在学年数及び卒業所要単位数等は、学生便覧に詳細な卒業要件（選択課程毎に必要な単位数や選択科目における要件）として記載し周知している。</p> <p>なお、具体的な卒業判定の手順は、次のとおり</p> <p>2月初旬 教務委員会で審議</p> <p>2月中旬 教授会で審議</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	看護師課程 124 単位	有・無	単位
		看護師・保健師課程 136 単位		
		単位		
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページに掲載
<https://www.niigata-cn.ac.jp/guide/outline/shisetsu.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	535,800 円	新潟県内者 282,000 円	0 円	
			新潟県外者 564,000 円		
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>1 学年～3 学年に学年担任 (各学年ごとに 3 人の教員が担当) を置いて、学生の様々な相談に応じています。学業に関する相談は、この学年担任か科目担当教員に相談することとしています。各科目担当教員への質問・相談がある時は、教員のオフィスアワーを活用 (対応可能時間帯や予約などを確認) することで適切な相談ができます。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>就職・進学に関する疑問、不安、迷い等があるときは、学年担任かゼミ担当教員、または学生委員や国家試験対策・就職委員、さらに事務局図書学生係に相談できます。</p> <p>また、進路情報コーナーを開設し、求人情報、進学情報、国家試験関係等の情報を公開しています。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>1. 健康相談 健康に関する心配事や病気に関する不安があるときは、学校医・保健師・保健指導員に気軽に相談することができ、相談の秘密は守られます。</p> <p>2. 心の健康相談 心理カウンセラーが週一日在室し、対人関係などのさまざまな悩みの相談を受け付けています。</p> <p>3. 大学ホームページや学生便覧に、個別の事例に応じた相談方法が記載されています。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：大学ホームページに掲載 https://www.niigata-cn.ac.jp/jyohokokai/index.html</p>
--